

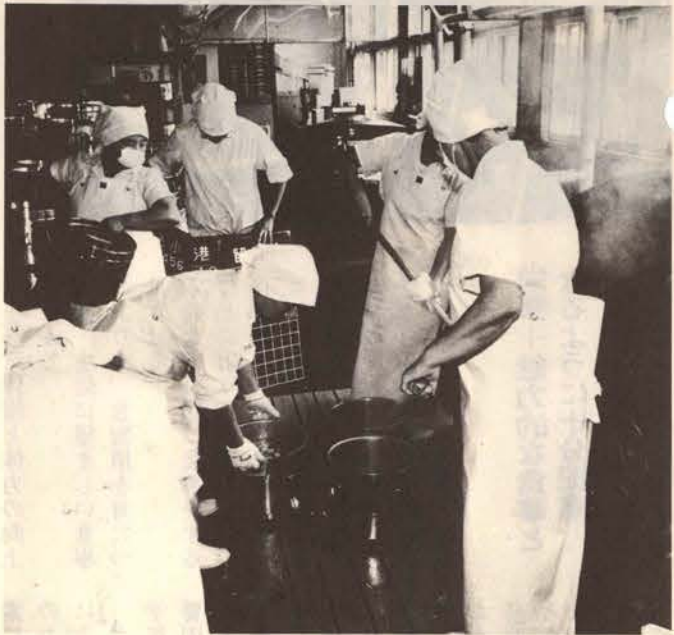
留萌市学
給食セ
ンター

留萌市が、市内小・中学校への給食を始めたのが昭和40年7月でした。それからすでに23年、時代とともに給食がめざす内容が充実を増しました。全市の児童・生徒が同じ給食を食べるといふ行為を、普及させる時代。そして、児童・生徒のからだづくりのために給食づくりを考え、内容充実の時代へと移ってきました。そのような時代の流れのなかで、市の学校給食センターは「人間のからだづくりの出発点である小・中学校の大切な時期に、栄養のバランスのとれた食事を食べてもらおう……」と、お母さんの身になって考え、給食を毎日フル回転でつくっています。

現在、給食は1週5日間で年間約190日、1日4,900食が市内住之江町の学校給食センターで調理され、小・中学校あわせて17校、150学級に運ばれています。

給食のメニューは、1ヵ月ごとにきめられ、1週間の主食を見ると、米食2.5日、パン食1.5日、めん類1日となっていて、1年間同じようなメニューを出さないような注意がはらわれています。

今日は、子どもたちの健康を守り育てる学校給食の現状をご紹介しますとともに、市の取り組みについてご理解を深めていただきたいと思います。



子どもたちの健康を守り育てる学校給食。

